

1	組織名称(略称)	Broadband Forum(略称 BBF) http://www.broadband-forum.org/		
2	分類	活動目的	実装仕様化・相互接続性検証	対象分野
	技術MAP	活動エリア(注1)	-2	活動技術(注2)
3	目的	ホームネットワークとビジネスIPネットワークインフラ、グローバルネットワークのベストプラクティスを定義し、収益を生み出す新しいサービスとコンテンツ配信を可能にし、テクノロジー移行戦略を策定し、重要なデバイス、サービス&開発管理ツールを設計する。ブロードバンド市場において、アーキテクチャ、デバイスおよびサービス管理、ソフトウェアデータモデル相互運用性および認証に対応するマルチサービスブロードバンドパケットネットワーク仕様を開発する。		
4	組織構成	Board of Directors: 10名 (Chairman 1名、President 1名、Vice President 1名、Secretary 1名、Treasurer 1名、Chief Executive Officer 1名、Board Member 4名)		
5	参加資格 会費	オープン 会員種別と年会費: ・Principal Membership: \$13,650.00 USD/year ・Small Company Principal Membership: Revenue \$25M以下\$5,875.00 USD/year ・Auditing Membership: \$4,850.00 USD/year ・Associate Membership: \$1,300.00 USD/year		
6	主要メンバー (2017年X月現在) (注3)	主要メンバー: Board Member: 9社(AT&T, BT, Nokia, ASSIA Inc., Ericsson, UNH-IOL, Deutsche Telekom, Huawei Technologies, Telecom Italia) うち日本企業:0 会員数:134 うち日系企業数:4社:NEC, NTT, 住友電工、ソフトバンク		
7	他団体・組織との 関係	リエゾンなど 協力関係にある組織を3つのカテゴリー(Liaison, Cooperation, Collaboration)で整理している: 3GPP Collaboration 3GPP2 Liaison AIOTI Liaison ATIS Liaison Digital Living Network Alliance Liaison Digital Video Broadcasting Liaison EU JRC Liaison ETSI Cooperation FSAN GSMA Liaison Home Grid Forum Collaboration HGI Collaboration SIEPON Liaison IETF Liaison ITU-T Collaboration ISO IEC/JTC 1 Liaison IPv6 Liaison MEF Liaison MoCA Liaison NICC Cooperation oneM2M Collaboration OCF Liaison Open Mobile Alliance (OMA) Cooperation OSGi Liaison Soft at Home Liaison Small Cell Forum Cooperation TMForum Cooperation		

		UPnP Liaison Wi-Fi Alliance Liaison WiMAX Forum Collaboration ZigBee Alliance Liaison
8	TTC活動との 関連性 (注4)	<input checked="" type="checkbox"/> TTCの専門委員会活動と関係あり 網管理専門委員会、アクセス網専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会、光ファイバ伝送専門委員会、信号制御専門委員会、Network Vision専門委員会、oneM2M専門委員会 <input type="checkbox"/> なし
9	活動状況	2017年3月28日:ブロードバンドフォーラムの年間賞、選挙、ホームネットワークパフォーマンスのための新しいプロジェクトを開始 2017年3月16日:NG-PON2のための新しい協議会を立ち上げた 2017年3月6日:新しいアドバイザリーカウンシルの創設を発表 2016年12月15日:業界初のXGS-PON Plugfestを開催。PONの相互運用性拡大 2016年12月1日:仮想化されたサービスの配信をスピードアップする新しいサービスプロバイダイニシアチブを発表 2016年11月14日:ブロードバンドフォーラムがITUテレコム・ワールド2016に展示 2016年10月12日:SDN World CongressのNFVの事業に注力。 2016年8月30日:ブロードバンドフォーラムがFTTdp管理ソフトウェア仕様の最初のYANGモジュールを発表。事業者の大幅な収益拡大に有用 2016年8月10日:SDN/NFVのホームネットワーク仕様TR-317を制定 2016年7月28日:ブロードバンドフォーラムとON.LabがCORDで協力する 2016年7月27日:ドイツテレコムとブロードバンドフォーラムは「モバイルと固定ネットワークの「真のコンバージェンス」をコラボレート 2016年4月27日:次世代のブロードバンドネットワークのビジョンを検討するためのオペレータとメーカの会議をアトランタイイベントで開催すると発表。
10	設立時期	1991年Frame Relay Forum、ATM Forumとしてそれぞれスタートし、1994年にADSL Forumとして合体、のちDSL Forumと名称変更し、2008年にBroadband Forumへ名称変更。2009年、IP/MPLS Forumと統合。
11	本部所在地	5177 Brandin Court, Fremont, CA 94538 USA Tel:+1.510.492.4020 Email: Info@Broadband-Forum.org
12	関連標準化技術	TR-069がBBFの中心的標準規格 CPE WAN 管理プロトコル (CWMP, CPE WAN Management Protocol) の技術仕様であり、エンド・ユーザ機器の遠隔管理のためのアプリケーション層のプロトコルを定義している。
13	備考	普及状況: TR-069は宅内機器の遠隔管理プロトコルとして世界中で広く使われている。また宅内機器だけでなく、ホットスポットのアクセスポイントなど、ネットワークの先端における機器の遠隔制御用プロトコルとして様々な機器に採用されている。 Bylaws : https://www.broadband-forum.org/about-the-broadband-forum/membership/bylaws IPR Policy: https://www.broadband-forum.org/IPRPoly2016.pdf
14	更新年月	2017年10月

(注1)活動エリアは以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 2: モバイル系領域を中心に活動を実施
- 1: モバイル系領域の活動を主に、固定系領域の活動も実施
- 0: モバイル系、固定系の両領域にまたがって活動実施
- 1: 固定系領域の活動を主に、モバイル領域の活動も実施
- 2: 固定系領域を中心に活動を実施

(注2)活動技術は以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 3: APL(アプリケーション)領域の活動を実施
- 2: APL領域の活動を主に、MDL(ミドルウェア)領域の活動も実施
- 1: APLとMDLの両領域の活動を実施
- 0: MDL領域の活動を実施
- 1: NW(ネットワーク)領域の活動を主に、MDL領域の活動も実施
- 2: NW領域の活動を実施
- x: 該当せず等

(注3)日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注4)「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。